

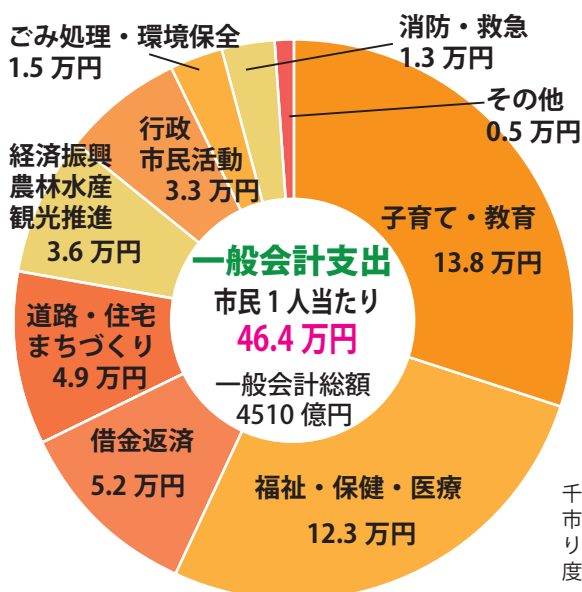
市民ネットワーク 議会通信

2020 年（令和 2 年）
千葉市議会第 3 回定例会
9 月 8 日～10 月 7 日



災害や“コロナ”への対策を進めたことを評価 **決算を認定**

2019 年度の決算を審査しました。50 人の議員が 5 つの分科会（総務・保健消防・環境経済・教育未来・都市建設）に分かれ、個々の事業に対し意見要望を述べました。



千葉市 HP「みんなの財政」市のお金の使い道をわかりやすく説明。「令和元年度決算」をご覧ください。

きめ細やかに、着実に、市民に必要な支援を！

昨年秋の台風被害への対応として、インフラや公共施設の復旧等「災害復旧費」51億9700万円が当初予算に追加されました。また、今年に入って広がった新型コロナウイルス感染症の対策として、電話相談窓口の開設、医薬品やマスクなどの購入、市政だより臨時号による情報提供や広報活動など、市民の命と健康を守るための緊急事業が実施されました。

さらに、左のグラフのように、子育て（保育所や子どもルームの受け入れ枠拡大など）や教育（小中学校普通教室へのエアコン設置など）に関する事業にも積極的に取り組んでいます。実質公債費比率12.9%は政令市20市中最低位と、依然借金の割合が高い状況ですが、工夫をしながら財政を運営したことを評価し、決算を「認定」しました。

引き続き、新型コロナウイルスの影響や市民生活の変化を見すえ、新たな事業をすすめるとともに、いま市民に必要な支援を、きめ細やかに、着実に推進するよう求めました。

総務分科会から 松井かよ子

* 財政・防災・分野横断的な事業等

● 備蓄品を試す防災訓練を

避難所の開設・運営の手順が YouTube で公開されました。これを活用して、学校・公民館・コミュニティセンター・町内自治会館などで備蓄品を試しながら防災訓練を行い、いざという時にできるだけ混乱が生じない体制づくりを要望しました。



● ペットとの避難について検討を

昨年台風被害の際に初めて開設された、ペットとの同伴避難所についても、今後のあり方について検討し、市民へ広く知らせることを求めました。

● 「ちばシティポイント」の対象拡充を

「ちば風太WAONカード」に貯めることができる「ちばシティポイント」ですが、ウォーキングなどの健康づくりポイントに加えて、今後は地域の清掃活動などにも対象を拡げて、より多くの人に参加し、ポイントを得られる仕組みとするよう要望しました。

教育未来分科会から 岩崎明子

* 学校・生涯学習・子育て支援事業等

● 子どもの参画を積極的に進めて！

事業の対象になりうる小学生～大学生の人口は 14 万 5 千人。それに対し「こども若者のカワークシヨップ」は 165 人「こども若者市役所」は 291 人参加と少なすぎます。CBT こどものまちも 6 区開催の目標を達成できていません。体験した子どもが成果を発表できる場を増やして共感を広げ、参加者増につなげるよう求めました。



2018 年わかば CBT の市長選挙と子どもが運営するフードコート

● 学校が変われば不登校児童生徒は減らせる

新たにフリースクールと連携してインターネット学習環境を整備し、学びの場を広げられたのは成果です。しかし、学校が一人ひとりの困りごとに寄り添えるようになれば不登校は減らせます。地域連携も強化しながら、学校の在り方改革に取り組むよう要望しました。